



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.42

## 「お母さんが今の時代にこどもだったら どんな遊びをしたいですか？」

テレビゲーム、パソコンに興味 「今のこどもはうらやましい！」

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者を対象としたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

### 【調査概要】

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集

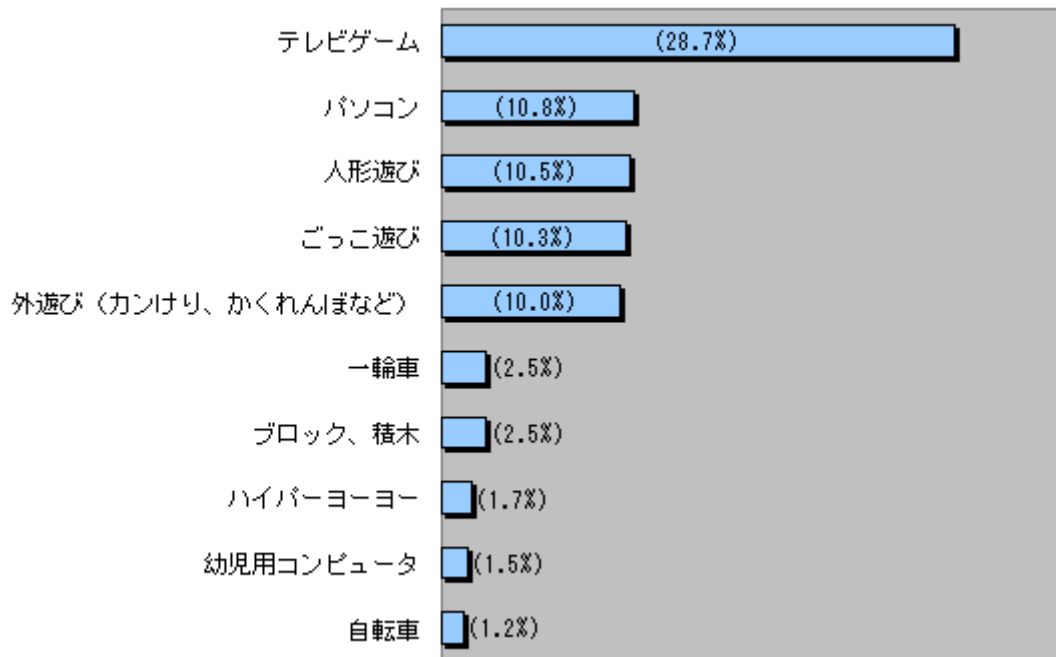
実施時期：1998年9月

質問内容：お母さんが今の時代にこどもだったらどんな遊びをしたいですか

調査対象：0～12歳のこどもを持つ母親

有効回答数：281人

## アンケート結果 (281人中 408件中 複数回答を含む)



### ★実はテレビゲーム、パソコンに興味津々

お母さんが今の時代に子どもだったらしてみたい遊びとしては、テレビゲームという回答が圧倒的な1位となった。ふだんは、どちらかという、子どものテレビゲームを「1日△時間まで」とたしなめることが多いお母さんだが、「実はやってみたい」「子どもがのめり込むのがわかる」という意見が多く見られた。パソコンという意見も上位となった。お母さんたちが子どもの頃は家庭に普及していなかったということで、特にインターネット、Eメール、パソコン通信などのネットワークに高い関心を示していた。

### ★今の時代の玩具で遊んでみたい

3、4位の人形遊び、ごっこ遊びという回答は一見、子ども時代をなつかしむもののように見受けられるが、実は子ども時代の不満を解消したいためのようだ。自分が子どもの頃は、人形やごっこ遊びの玩具の種類が少なかったり、玩具を買ってもらえずに何かで代用して遊んでいたため、種類が豊富で豪華な今の時代の玩具で思い切り遊んでみたいというのが本音のようだ。

### ★子どもをうらやましく思うお母さんたち

今回のアンケート調査では、全体を通して、今の時代の子どもたちに対する羨望の気持ちがうかがえる。「楽しいテレビゲームが身近にあってうらやましい」「いろいろと玩具があってうらやましい」「小さいころからパソコンを使いこなせてうらやましい」……など。6位の一輪車や8位のハイパーヨーヨーという回答も、それを使いこなす子どもへの憧れなのかもしれない。

※ このアンケートレポートに関して「子ども調査研究所」の渡部尚美さんから以下のコメントをいただいております。

### ■お母さんが今の時代にこどもだったらしたい遊び

私が小学生の男の子たちとテレビゲームで遊ぶと「オジさん、ヘタだなあ、ちょっと僕にやらしてみなよ」と憐れみの視線を受けます。特に反射神経を要するタイプのゲームでは歯が立ちません。くやしから猛烈に練習を積んで、オジさんの間では無敵というレベルで再挑戦しても、また負けてしまうのです。

数年来のベストセラー本「ゾウの時間ネズミの時間」にはこう書かれています。ゾウの心臓がドクンとする間に、ネズミはトクトクトクトク何回も打つ。でも哺乳類は、どの動物でも一生の間に等しく約 20 億回心臓の鼓動を打ち、約 5 億回呼吸をする。各々の動物にはその大きさによって固有な生理的時間があり、ゾウにはゾウの時間感覚、ネズミにはネズミの時間感覚があるのではないかと。

これを「こどもの時間大人の時間」として読むと、こどもと大人では、身体の中で流れている時間の感覚がちがうことになります。新生児の安静時の脈拍は大人のおよそ 2 倍で、赤ちゃんの心臓がトクトクと 2 回打つ間に、大人は 1 回ドクンと打つ勘定です。おおまかな体内リズムの時間感覚は、こどもは大人のおよそ 2 倍の時間を生きていることになります。

テレビゲーム、それも反射神経を要するゲームは、情報処理のスピードと的確さを競うものです。こどもたちの身体の中を流れている時間が、大人のおよそ 2 倍の速さであるとすれば、こどもたちがなぜテレビゲームが上手なのかの謎は解けます。それは、こどもたちの時間感覚とテレビゲームが進行する時間感覚が、ピッタリとシンクロしているからなのでしょう。こうしたこどもたち特有の時間感覚は、14 歳頃には落ち着きはじめ、大人の時間感覚に近づいていきます。だから、14 歳までの特別の時期に、世の親たちは「うちの子は天才だ」と驚喜するのでしょう。

こどもだからこそ特別に楽しいこと、それは身体の中を流れる「時間感覚」とピッタリの遊びをすること、そして「時間感覚が同じ人＝友達」と遊ぶことなのです。